

2011 港区秋季テニス大会

主 催 港区教育委員会
(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (一財)港区体育協会
主 管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男
ディレクター 岡山 静
レフェリー 古平 真
大会運営係 鳥居坂テニスクラブ

日 時 2011年10月2日 9:00~17:00 小雨の場合は決行

会 場 芝公園コート (オムニコート)
当日の連絡 090-1117-5121

種 目 壮年女子ダブルス45

集合時間

| | |
|----------------------|--------------|
| No.13-14 19-20 29-30 | の方は AM 8:50 |
| No.3-4 11-12 21-22 | の方は AM 9:20 |
| No.5-6 9-10 27-28 | の方は AM 9:50 |
| No.7-8 23-24 25-26 | の方は AM 10:20 |

上記以外の方は AM 10:50 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 6ゲーム先取(5オール・タイブレークシステム) ノード・ハンデッジ・スコアリング方式
セルフジャッジ方式 コンソレがあります(天候等により変更する場合があります)

表 彰 1~2位(表彰状・副賞)

そ の 他

- ・試合球は主催者が試合球を用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」2011年版に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯していると判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。セットボールは聴覚障害者団体に寄付をする。

+